

## 第 113 回 国立大学法人新潟大学経営協議会 議事概要

1 日 時 令和 3 年 9 月 24 日（金） 13 時 15 分～16 時 12 分

2 場 所 Zoom 会議

3 出席者 構成員 15 名：  
牛木学長，川端委員，小久保委員，坂本委員，澤村委員，末吉委員，  
成田委員，伊藤委員，齋藤委員，神保委員，高橋委員，三輪委員，  
森委員，（欠席：岩田委員，福田委員）  
オブサーバー：  
塚本理事，富田特命理事，田代監事，逸見監事

## 4 議事概要について

第 111 回（令和 3 年 6 月 23 日），第 112 回（令和 3 年 7 月 8 日）の議事概要が確認された。

## 5 審議事項

## （1）医歯学総合病院中長期設備投資計画について

医歯学総合病院中長期設備投資計画について，資料 1 に基づき審議が行われ，原案のとおり承認された。

（主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言）

- ・機器導入にあたっての収支については，プラスの収支とならない機器もあったかと思うが，どのような配慮を行ったのか。
- ・機器導入にあたっての妥当性は，どれくらいの稼働が見込まれ，収支にどのような影響が出るのかを，現場との話し合いも行ない，細目に渡って検討させていただいている。
- ・現場の目線でいろいろと検討されたことは，非常によいことだと思う。設備投資についてだが，現在は非常に金利も下がっており，新潟大学，医歯学総合病院は，社会的に信頼の高いところになるので，例えば，減価償却法にこだわるのであれば，もっと大きな金額の借入ができると思う。収益を上げていくなれば，今の時期は金利負担もそれほど高くない

ので、もっと大がかりな投資ができると思うが、可能な限り借入金に頼らないとの理由を伺いたい。

- ・いろいろとご指導いただけるとありがたい。医歯学総合病院の基本収支は赤字基調になっており、運営費交付金等の営業外収支をもって、バランスが取れるような状況である。運営費交付金そのものも上がっていく余地はなく、漸減していくような状況であり、既に借入金も抱えている状態である。さらに申し上げれば、今後西病棟の建屋更新も視野に入れていく必要があり、現状としては、今の借金を返済しつつ、営業収支の黒字化に取り組み、そこでやりくりを行うことを考えている。
- ・医療情報システムの導入に関してだが、総額で52億円という数字は、パッケージの導入ということか。また、導入するにあたって、既存のシステムとのコネクションもあり、導入までに時間がかかると思うが、その辺はいかがか。
- ・医療情報システムの更新は、電子カルテの更新となるが、52億円は、基本契約やオプション契約を積み上げて、各年度の支出見込み額の総額となっている。現在、業者とやり取りを行っており、概算での金額となるため、変動する可能性がある。切り替えのタイミングは、2023年となり、そこに向けて仕様書の最終策定を行っている。

## (2) 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる各種案について

国立大学法人ガバナンス・コードにかかる各種案について、資料2に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言、■：本学側の発言)

- ・経営協議会は、執行に対してのオーバーサイト機能が求められていると思うが、今後、経営協議会が機能しているのかとの点で、実効性評価がガバナンス・コードに入ってくるのではないかと考えている。そうすると、経営協議会委員も独立性を持っている必要が出てくることとなり、委員の選考をどのようにするかが大切になってくると思う。また、任期についても、10年を超えるような場合は、今後問われてくると思うので、新潟大学として委員の再任や新任を選ぶにあたって、どのようにしていくかを今後考えていただきたいと

思う。経営協議会の委員の実効性を高めるためにどのようにしていくか、是非とも考えていただきたい。

- ・経営協議会学外委員については、企業であれば社外取締役になると思うが、資料の4ページ目の4項目を見ると、すべてが大学側から学外委員に対して、情報や資料を提供しますよといった、一方的な流れに見える。今の段階で入れる必要はないが、社外取締役であるのなら、自ら必要な情報を企業に求めることができるといった内容にしてもよいと思う。私なりの解釈としては、最後の項目にある大学関係者との意見交換等に含まれているのではないかと考えるが、今後議論が出てくるかもしれないので、意見として申し上げておく。
- ・頂いたご意見は本質的なものとする。10月下旬に公表する必要があるため、ご承認いただきたいが、継続的に検討していきたい。

### (3) 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる本学の適合状況等について

国立大学法人ガバナンス・コードにかかる本学の適合状況等について、資料3に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言)

- ・資料10 ページの一番下の内部通報についてだが、通報されてきたものについては、適切に処理されていると思う。ここでの実効性評価というのは、内部通報がしっかりと機能しているかどうかということであり、それは何かというと、問題があれば、それがスムーズに上がるような実効性が担保されているかどうかである。案件の対応だけでなく、案件が上がるような教育や周知を行ない、また通報を行った者に対して絶対に不利益がないように、監事からも見ていただくようなアプローチが欲しい。
- ・現在、外部からの通報窓口は監査室が受け持っているが、今後外部の法律事務所にも窓口を設けることを考えており、年度内に実現する方向である。現在よりももう少し幅広く意見の収集ができると思っている。

## 6 報告事項

### (1) 令和4年度医学部医学科の入学定員について

澤村理事から、令和4年度医学部医学科の入学定員について、資料4に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言)

・なし

### (2) 令和2年度内部質保証活動について

澤村理事から令和2年度内部質保証活動について、資料5に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言)

- ・学内の一人一人の思い入れや努力が総合的に出てきて、大学そのものの底上げに非常に効果があると思う。これに対する評価になるが、部局でうまくまとまってきたとか、努力の度合いに差が出てくると思うが、モチベーションに対する報奨などは行っているのか。
- ・企業では、TQC や TQM を一生懸命行っており、モチベーションを上げるために、学長からの一言でもよいので、何かちょっとした報奨があるとよいと思う。
- ・報奨は行っていないが、事務の方で別に報奨制度があり、そこと結びつくともよいかもしいないので考えてみたい。

### (3) 第3期中期目標期間の4年目終了時評価に係る業務の実績に関する評価結果について

澤村理事から第3期中期目標期間の4年目終了時評価に係る業務の実績に関する評価結果について、資料6に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言)

- ・やはり新潟大学も大学の取組事例に掲載されるように期待したい。そこに入ってくることで、生徒の見方も変わってきて、目指したいと思う大学に近づいてくると思う。
- ・内閣府の地方創生に関する会議に参加しているが、コロナをきっかけにもっと地方創生を進めて行こうとの流れになっている。その中で魅力ある地方大学というのをいかに実現していくかが、一つのポイントとなっており、地方大学が目指すべき方向としては、地方公共団体、産業界と連携して、ニーズオリエンテッドな大学改革を目指すべきと謳われている。新潟大学の今の項目を見ると、創生学部、佐渡、アルツハイマーに関する研究など、すごくニーズオリエンテッドだと思う。たぶんご存じだと思うが、内閣府で地方大学・地域産業創生交付金による支援が行われているが、この事業には、申請されていたりするの  
か。
- ・支援開始当初、燕三条のものづくりで、本学が核となって技術的な話をさらに導入しながら、地域活性化をはかるとのことで申請させていただいている。その時は、事業規模が大きすぎて、うまくいかなかったが、その事業は来年から方針を変えて、ハンズオン型とかいろいろなタイプのものを作ると聞いているので、挑戦させていただきたいと思っている。
- ・現在採択されている事例を見ると、地域のトップが積極的に取りまとめを行って申請することが必要なので、知事なり市長なりと連携をしながら、戦略的に取り組んだほうがよい。現在の採択事例を見て、まだ採択されていない分野で、新潟に相応しいものとしては、農業の分野がないので、燕三条の技術プラス、アグリテックだと思う。三条の技術と新潟の特色である農業を最先端で組み合わせていくことで、日本全体の地域の課題解決にもつながり、また、自治体と組んで、戦略的に取り組んで行けば、ニュースバリューにもなり、新潟大学のブランド力を高めることに大きく貢献してくれると思う。

#### (4) 第4期中期目標・中期計画について

澤村理事から第4期中期目標・中期計画について、資料7に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言)

- ・RPA を導入するとかの個別の問題や病院運営での中長期計画でも、デジタル化というのは非常に大きな課題で、大学運営の効率化を圧倒的によくできる分野だと思う。よって、この中期計画の中で、プライオリティや予算などに関して、デジタル化に対する計画を作ることが非常に重要だと思う。新潟大学として、大学運営の効率化のために、デジタル化の計画を立てて進めて欲しい。
  
- ・この中期目標・中期計画では、教育とか研究の部分が多く、あまりデジタルに関して記載する場所がなかった。デジタル・キャンパスの部分にある情報基盤センターの再編については、積極的に進めているので、今後、少し具体的にご覧に入れられるようにしたい。
  
- ・素案から大胆に変更されている部分もあるが、全体的な印象として、無理をして総花的にあれもこれも記載するというのは、いささか問題があると思っていたが、かなり絞った内容になり、よくなってきているとの印象を受けている。ただ、積極的な社会への参入姿勢がやや弱くなった印象も若干感じたので、それを超えるような、ポイントを絞ってこれをやるのだという、大学としての個性を発揮できるチャンスとして取り組んでいただきたい。

#### (5) 令和2事業年度財務諸表の承認について

川端理事から令和2事業年度財務諸表の承認について、資料8に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言)

- ・資料の9ページにある損益外減価償却相当額とあるが、これは何になるのか。
  
- ・損益外減損損失累計額については、平成16年度に法人化された際に、国から現物出資された建物については、国が予算措置するという前提になっており、会計処理上、損益外で処理することとなる。そのうえで、減損を認識した建物については、損益外減損損失累計額として計上することになり、令和2年度については、年度末で使用を停止した職員宿舎5棟分と、令和2年12月で使用を停止した康楽会館を計上している。

#### (6) 令和2事業年度決算分析について

川端理事から令和2事業年度決算分析について、資料9に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言，■：本学側の発言)

- ・とてもよい決算だと思う。病院も非常にしっかり対応している。ただ、病院は最新の技術がデジタル化して入っていると思うので、設備投資が遅れないように、コストカットもしていただいて、しっかりと見ていただきたいと思う。
- ・全体的に非常に外部要因が変化する状況の中で、大学セグメントも病院セグメントもよくまとめられていると感じた。質問になるが、資料9-1の7ページで、教員の退職者が見込みよりも多いことが気になるが、見込み以外の理由を伺いたい。
- ・第3期の人事ポイント制は、期間中に緩やかにポイントを減少させ、各部局に人事ポイントを配分しお任せしていた。本来であれば、上限まで採用して大丈夫なのだが、先の事を考えて、少し控えて教員人事を行った結果となる。
- ・そのような状況とすると、この傾向は毎回出ることとなるのか。
- ・この傾向は良い傾向ではない。第4期においては、将来にわたって一定値の人件費を部局へ配置した方が、人事を組みやすくなるので、できる限りそのような方向で進めたいと思っている。しかしながら、不安定、不確実な要素も大きいので、そこに対応する施策も一緒に検討している。
- ・セグメントの情報だが、これから財務関係を改善されるにあたって、学系別や病院の歯科の部分も入っていた方が良いと思う。
- ・今、第4期の財務構造を変えようとしている。現在、決算の段階で何に予算を使用したかはわかるが、配分する際は、科目立てがほとんどされずに、積算された額をひとまとめに配分しており、用途を限定していない部分が非常に大きい。何にどれだけ予算を配分し、何に使ったかという部分をトレースできるような財務構造にすることで、初めてセグメントとして評価ができるようになるので、そこができるように検討を行っている。

- ・ 病院長に就任し、令和元年度の途中から原価計算を始めたが、診療科毎にものすごく異なることとなり、資料をお配りできるような内容ではないが、国立大学病院長会議において、ある程度の確かさを持った原価計算の病院間比較があるので、今年度から各診療科に見ていただき、経営努力ができるところからやってもらうこととしている。
- ・ 赤字だから悪い、黒字だから良いというのではなく、昨年と今年で比較ができる傾向値が見えるようになると、それなりに意味があると思うので、よろしくお願ひしたい。

#### (7) 令和4年度概算要求について

川端理事から令和4年度概算要求について、資料10に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言)

- ・ 意見なし

#### (8) 医歯学総合病院令和3年度収支見込（9月版）について

富田特命理事から医歯学総合病院令和3年度収支見込（9月版）について、資料11に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言)

- ・ 意見なし

#### (9) 令和2年度監事監査意見書について

田代監事から令和2年度監事監査意見書について、資料11に基づき、報告があった。

(主な意見及び質疑等 ○：学外委員の発言， ■：本学側の発言)

- ・ 意見なし